

【ダーウィンLNGプロジェクトにおける参画比率】

| グループ（親会社） | 比率 |
|--------------|--------|
| コノコフィリップス（米） | 56.72% |
| エニ社（伊） | 12.04% |
| サントス社（豪） | 10.64% |
| 国際石油開発（日） | 10.53% |
| 東京電力（日） | 6.72% |
| 東京ガス（日） | 3.36% |

（注）

- ・ ダーウィンLNGプロジェクトはバユ・ウンダン・ガス田開発事業、パイプライン事業、液化プラント事業の3事業により構成されるが、各事業への参画比率は上記比率に準拠。
- ・ 東京電力および東京ガスのバユ・ウンダン・ガス田開発事業の参画形態は、10.08%の開発権益を持つ「東京・ティモール・シー・リソースズ社」に対する2対1の割合での共同所有形式。

【ダーウィンLNGプロジェクト参画会社】

（買収後の会社）

社 名：東京・ティモール・シー・リソースズ社（米法人）

買収年月：2003年6月

参画形態：豪州の100%子会社である東京・ティモール・シー・リソースズ社（豪法人）を通じて、バユ・ウンダン・ガス田の10.08%の開発権益を所有する

（東京電力）

社 名：テプコ・ダーウィンLNG社（豪法人）

設立年月：2003年3月

参画形態：パイプライン・運営権益の6.72%を所有するとともに、ダーウィン市郊外に建設する液化プラントを所有してLNGの生産・販売を行う「ダーウィンLNG社」の6.72%株式を所有する

（東京ガス）

社 名：東京ガス・ダーウィンLNG社（豪法人）

設立年月：2003年4月

参画形態：パイプライン・運営権益の3.36%を所有するとともに、ダーウィン市郊外に建設する液化プラントを所有してLNGの生産・販売を行う「ダーウィンLNG社」の3.36%株式を所有する

【LNG売買基本合意の概要】

当 事 者：売主　ダーウィンLNG社

買主　東京電力株式会社、東京ガス株式会社

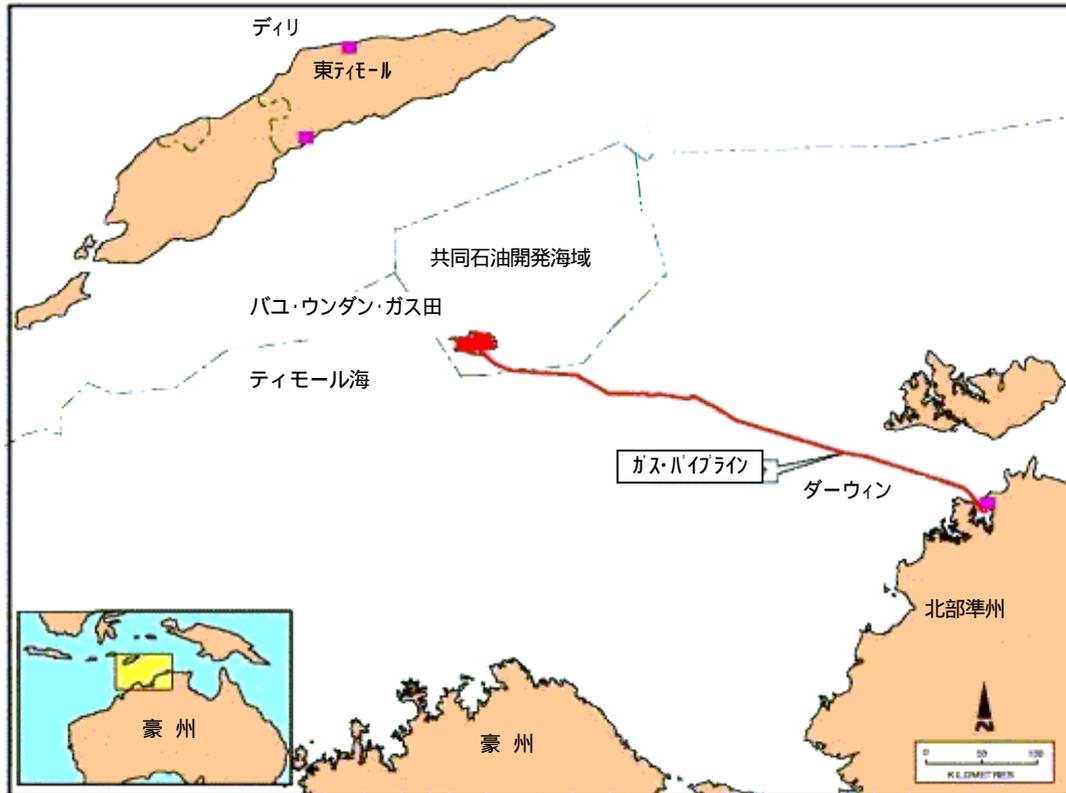
契約数量：東京電力　200万トン/年、　東京ガス　100万トン/年
（平年度ベース）

契約期間：2006年から17年間

契約形態：FOB（買主である東京電力、東京ガスがLNG船を手配し輸送）

【バユ・ウンダン・ガス田概要】

位 置： 豪州・東ティモール共同石油開発海域内
豪州ダーウィン市沖合 500km、 東ティモール南岸沖合 250km
埋蔵量： 天然ガス 約 3.4 兆立方フィート
石油分（LPG・コンデンセート） 約 4 億バレル



【コノコフィリップス社の概要】

- ・ 2002年8月に独立系石油・ガス会社であったコノコ社とフィリップス社が合併してコノコフィリップス社誕生。(本社：米国テキサス州ヒューストン)
- ・ 米系石油・ガス会社の中では第3位(従業員約57千名、総資産約800億米ドル)。
- ・ 東京電力・東京ガスが購入しているアラスカLNGプロジェクトの70%権益保有者・売主。
- ・ フィリップス・ペトロリウム・ティモール・シー社(Phillips Petroleum Timor Sea Inc.)は、バユ・ウンダン・ガス田に10.08%の開発権益を有するコノコフィリップスグループ100%所有の会社だった。

以 上